

平和祈念 財団だより



東北復興支援・ヒマワリ畑セレモニー



東日本大震災から15年。被災地である東北三県（福島、宮城、岩手）の慰霊塔も建つ平和祈念公園には、復興への願いと平和の祈りを込めて育てたヒマワリが、今年も青空へ向かって力強く咲き、園内を明るく彩っています。

3月11日（水）、エントランス広場で行われた「ヒマワリ畑オープンセレモニー」には、毎年ヒマワリの種をご提供いただいている、福島・沖縄絆プロジェクトの鈴木伸章様、在沖縄福島県人会長・木村貞夫様、宮城県人会沖縄萩の会会長・有見二郎様をはじめ、東北にゆかりのある方々にご参加いただきました。冒頭、被災地のさらなる復興を祈念し、参加者全員で黙とうを捧げました。

セレモニーには、「しおひら保育園」「第2ぐしかみ保育園」「西崎どろんこ保育園」の子ども達も参加。しおひら保育園の園児による、かわいらしいダンスも披露されました。

当財団では、社会福祉法人志紋福祉会「みなみの里」様のご協力をいただき、福島県の大熊町から届けられたヒマワリの種を育て、園内で開花した後に種を採取して、再び大熊町へお届けする取り組みを、2015（平成27）年より毎年続けています。〔今年で11回目です〕

「ヒマワリ畑」の開催は、3月31日（火）までを予定しています。多くの方に足を運んでいただき、被災地東北三県や平和祈念公園へ思いを寄せていただく機会となれば幸いです。



2/13



読売巨人軍沖縄県出身新人選手が平和祈念公園を訪問



2月13日（金）、巨人軍の新人で、**沖縄県糸満市出身の山城 京平（やましろうきょうへい）** 投手と、**宜野湾市出身の小濱 佑斗（こはま ゆうと）**内野手が、那覇キャンプを前に平和祈念公園を訪れました。当財団の仲田主査による案内で、先ず「国立沖縄戦没者墓苑」において献花を、続いて「平和の礎」の視察を行いました。

ご実家からも近く、幼い頃から平和祈念公園に訪れているという山城選手と、ご親族のお名前が「平和の礎」に刻まれているという小濱選手。平和への「想い」に触れながら、両選手は地元でのキャンプ・スタートに向けて、決意を新たにしていました。



2/14

大学生が参加 戦没者遺骨収集体験作業を実施



2月14日（土）、戦没者の遺骨収集活動および沖縄戦の記憶を次世代へ継承することを目的に、沖縄県と戦没者遺骨収集情報センターが中心となり、戦没者遺骨収集の体験会を実施しました。

当日は、沖縄大学の学生11名が参加しました。参加者の多くは遺骨収集活動に参加するのは初めてで、発見現場（糸満市喜屋武付近の森の中）までの道のりは、岩場を上り下りする危険な箇所もあり、学生たちは慎重に足元を確かめながら進んでいました。

現場では、先ず講師の遺骨収集ボランティア「ガマフヤー」代表の具志堅隆松さんより、沖縄戦や遺骨収集の状況についての説明が行われました。その後、昨年4月に発見された戦没者と推定される全身遺骨の収集作業を、全員で行いました

参加した学生からは、「沖縄戦をより身近に感じることができた」「全身骨を見て大きな衝撃を受けた。」「今回の体験を次世代へ伝えていく努力が必要だと感じた」などの感想が寄せられました。

作業終了後は、参加者全員で手を合わせ、戦没者の御霊を供養しました。



3/4

(株) 沖縄物産企業連合様よりご寄付と千羽鶴をいただきました



3月4日(水)、当財団の事務所会議室において、株式会社沖縄物産企業連合様より、ご寄付と有志の方々が心を込めて制作された千羽鶴をいただきました。

後世に戦争の悲惨さを伝える役目を担う、県内外の平和関連施設の維持・存続の支援を目的とした「ウムイプロジェクト」を令和4年3月に開始され、沖縄物産連合様は、ご寄付や折り鶴の贈呈、平和イベントの開催などの活動に取り組まれています。

この度のご寄付は、「国立沖縄戦没者墓苑」や各都道府県、団体の慰霊塔・碑、そして「平和の礎」の清掃や維持管理など、平和を発信する当財団の事業に大切に活用させていただきます。ご支援いただきました沖縄物産企業連合の皆様に、心より感謝申し上げます。



「第4回子ども・プロセス企画展」と「情報ライブラリー」のご紹介

沖縄県平和祈念資料館内にある「子供プロセス展示室」(ひろば・ゆいまーる)では、2月19日から5月24日まで、「県外での戦争体験と沖縄への引き揚げ」をテーマに企画展を開催しています。

今回は、戦前期に多くの沖縄県出身者が、国内外へ移住した社会的な背景や、太平洋戦争中における、各地で行われた戦闘や被害の様子、そして沖縄戦の戦闘終了後には、17万人以上の人々が、沖縄へ戻って来るまでに歩んだ困難な道のりなど、当時の「引き揚げ」の様子について紹介しています。

また、となりの「情報ライブラリー」では、「沖縄戦」だけでなく、「人権」や「環境」「国際理解」に関する図書や資料なども幅広く所蔵しています。

館内には閲覧室を設けており、一般の方や学生、教育関係者など、多くの皆様にご利用いただいております。ぜひお気軽にお越しください。



・・・企画展の開催期間中は休館日なくご覧いただけます。・・・

期間：2026年2月19日(木)～5月24日(日) 時間：9時から17時

場所：沖縄県平和祈念資料館1階 子ども・プロセス展示室「ひろば・ゆいまーる」

お問い合わせ：沖縄県平和祈念資料館/098-997-3844

あんやたん！記憶 公園ヒストリー

2026年⇒1975年

沖縄県立平和祈念資料館（旧館）



写真：沖縄県公文書館所蔵



・・・この建物を覚えていますか？・・・

上の写真は、昭和 50（1975）年に開館した「沖縄県立平和祈念資料館」（旧館）の開館時の様子です。当初の展示は、沖縄戦で使用された兵器類や軍装品、中には「不発弾」（未使用弾？）と思われる小銃弾や手りゅう弾も、そのまま展示されていました。

その後、展示内容の批判があり、「沖縄県立平和祈念資料館運営協議会」による見直しを経て生まれたのが「資料館・展示のむすびのことば」です。この「むすびのことば」は、現在の「沖縄県平和祈念資料館」（新館）にも受け継がれています。

※沖縄県公文書館のウェブ・サイト「写真が語る沖縄」でも紹介されています。※

財団カレンダー4月から6月までの主な行事



4月1日	令和8年度事業開始 辞令交付式
5月1日～6日	平和祈念こいのぼり祭り
5月15日	沖縄本土復帰記念日
5月下旬～6月上旬	財団理事会、評議員会
6月22～23日	平和の光の柱（サーチライト）平和の火（終日点火）
6月23日	【沖縄慰霊の日】沖縄全戦没者追悼式

「平和祈念財団だより」（No.19）2026（令和8）年3月15日 [年4回発行]

【発行】代表理事 金城克也

【編集】公益財団法人沖縄県平和祈念財団

編集：松川満 松堂利枝子 岩下喜博

901-0333 沖縄県糸満市字摩文仁 444 番地

☎：098-997-2765 / fax：098-997-2767

Email：heiwakinenzaidan@heiwa-irei-okinawa.jp



QRコードを読みとることで、「平和の礎」の刻銘者を検索することができます。